

テーブルオフィシャルで注意すること

■ タイムアウト

各クォーターおよび延長時限に 1 回ずつ、**45 秒間(事前合図10秒前)**のタイムアウトをとることができます。

- ① 審判が笛を吹いてゲームクロックが止まったとき ……**両チームとも**請求することができる
- ② ファウルの後は審判がテーブルオフィシャルに伝達を終えたとき ……**両チームとも**請求することができる
- ③ 最後のフリースローが成功したとき ……**両チームとも**請求することができる
- ④ 相手チームがフィールドゴールで得点したとき ……**得点されたチーム**は請求することができる

ただし、スローインするプレーヤーにボールが与えられたり、フリースローの場合はボールがフリースローシューターに与えられるとタイムアウトはとれません。

■ 交代ができるとき

第 4 クォーターと延長時限では、次のときにどちらのチームもプレーヤーを交代させることができます。

- ① タイムアウトがあったとき
- ② 審判が笛を吹いてゲームクロックが止まったとき
- ③ ファウルの後は審判がテーブルオフィシャルに伝達を終えたとき
- ④ 最後のフリースローが成功したとき

ただし、スローインするプレーヤーにボールが与えられたり、フリースローの場合はボールがフリースローシューターに与えられると交代はできません。

■ 個人ファールの揚げ方

ファールが審判から伝達されたら、**速やかに個人ファール**を表す用具をあげてください。

- ① **用具を持ち、手を前に伸ばした後に上へあげます。**
- ② **ベンチに見えるように 2 秒程停止します。**
- ③ **応援席など正面から見えるように角度を変え 2 秒程停止します。**
- ④ **「②、③」をもう一度繰り返します。**
- ⑤ **おろします**

何度もパタパタして「キャベツの千切り」を作りません！

■ 4 ファールのブザーが遅れた場合

4 ファールのブザーを忘れ、フリースローが始まったり試合が再開した場合、ブザーは鳴らしません。次のタイミングで、審判に伝えてください。

例) 白の 4 ファールでブザーを鳴らせなかった場合

白の 5 つ目のファール時に、声をかけたり手で 4 ファールを示す赤い表示器を示し、**既にチームファールが 4 つ目に達していること審判に伝える。**

※青のファールのときは、何もしない。

■ 延長ルール（埼玉ルール）について

【第 1 延長】

インターバル：2 分、試合時間：3 分。オルタ、ファールは継続する。

【第 2 延長】

インターバル：2 分、試合時間：3 分。オルタ、ファールは継続する。

ただし、どちらかのチームが 2 点先取（2 点差ではありません）した時に終了します。

第 2 延長が終了した時に、差があれば、試合終了です。（1 対 0 の時）

第 2 延長が終了した時に、同点の時（0 対 0 又は 1 対 1）は、第 3 延長になります。

第 3 延長以降は、通算での 2 点先取になります。（第 2 延長が 1 対 1 の時は、1 点先取で終了です。）